

**「共生社会ビジョン」  
「共生社会 = SDGsビジョン」  
策定の経過報告**

**令和4年2月8日  
第32回健全財政推進区民懇話会**

**経営企画部・SDGs推進部**

# 「共生社会ビジョン」・「共生社会 = SDGsビジョン」について

平成14年に策定した長期計画「えどがわ新世紀デザイン」の計画年次の終了を間近に控え、時代の変化や多様な課題に対応する新たな区の方角性を示すため策定するのが、「(仮称)共生社会ビジョン」と「(仮称)共生社会 = SDGsビジョン」です。

「ともに生きるまちを目指す条例」で示した基本理念を実現するため、基本構想となる「(仮称)共生社会ビジョン」と、2030年までの本区の見組みの方角性や個別事業計画をまとめた「(仮称)共生社会 = SDGsビジョン」を策定します。



## **(仮称) 共生社会ビジョン ( ~2100 )**

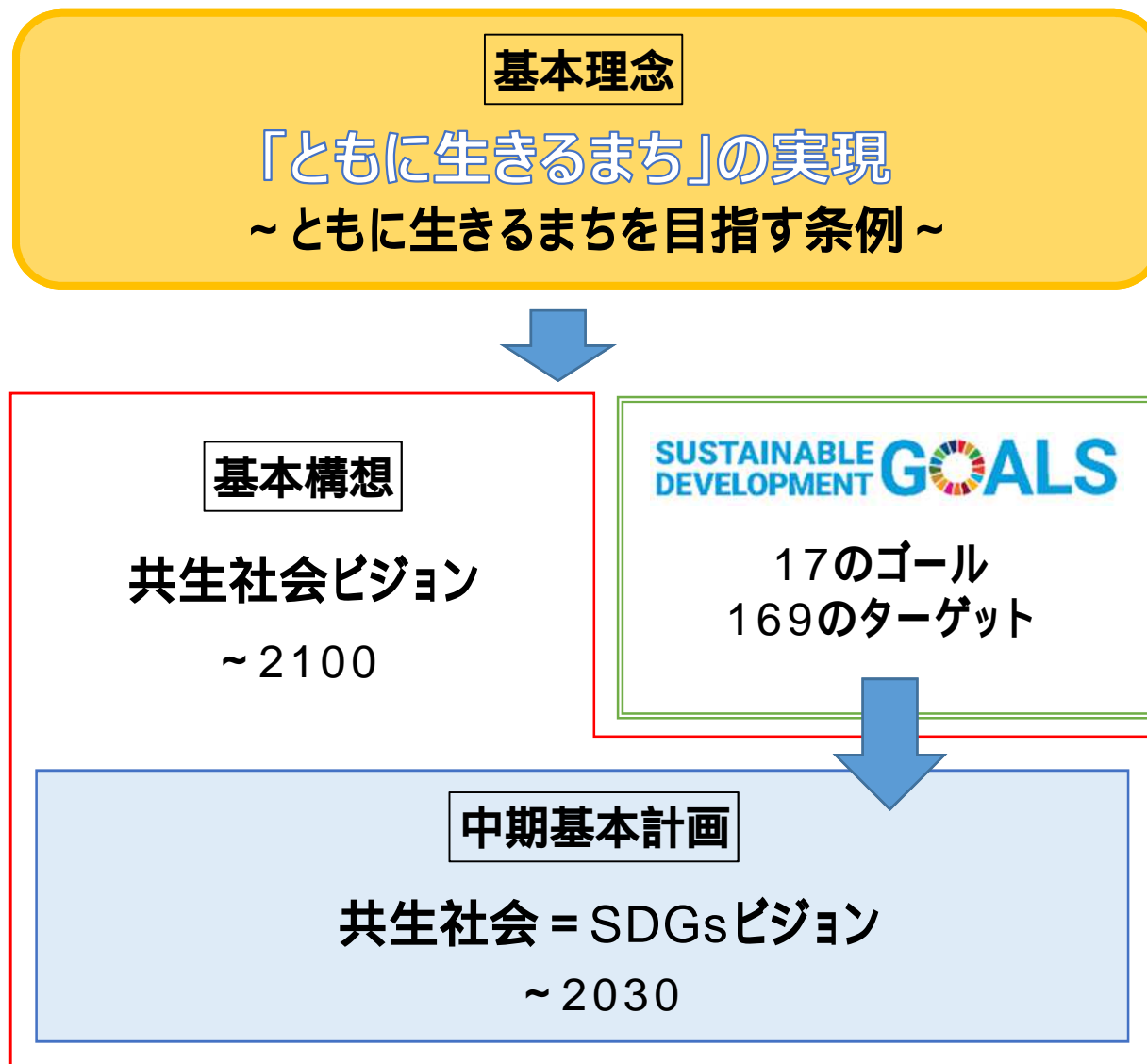
- ・区が目指す共生社会の姿をわかりやすく表す冊子
- ・「基本構想」に代わるものとして位置付け



## **(仮称) 共生社会 = SDGsビジョン ( ~2030 )**

- ・区が目指す姿を実現するために、2030年までに行うべき施策をまとめた冊子
- ・「基本計画・実施計画」に代わるものとして位置付け

# 条例とビジョンの関係図



# ビジョン策定の流れ

**みんなのえどがわ大会議**（広報誌・オンラインミーティング・ワークショップ）  
**えどがわ未来カンファレンス**

「目指すべき未来」についての区民、区議会議員、有識者等からの意見・アイデア

**「目指すべき未来」についての区役所における議論**

区民、区議会議員、有識者等からの意見・アイデアをふまえて考える  
2100年の理想の姿

**ビジョン（素案）に対する意見募集**  
（広報誌・HP、大会議参加者への声かけ）

**ビジョン（案）に対する意見募集**

共生社会  
ビジョン

**みんなのえどがわ大会議  
～ 区民等からの意見募集～**

# 区民等からの意見募集

## 1. 募集期間

令和3年4月15日から5月25日

## 2. 募集方法

- ・広報えどがわ（4/15号）備付けの応募はがき
- ・区HPの応募フォーム
- ・職員専用の応募フォーム

## 3. 応募件数

（総数）7,904件

（内訳）郵送 : 6,540件（小中学校46校からの応募を含む）  
HP : 315件  
職員 : 1,049件





# 区民等からの意見募集

## 5. 寄せられた意見の傾向等

「**自然（緑、みどり）が豊かなまちを目指す**」という意見が非常に多い。  
（「自然・緑・みどり」という単語は延べ約2,800回出現）

次いで、「**公園**」、「**子ども**」、「**笑顔**」、「**災害**」といった単語が多く出現する。

「子どもから高齢者まで、障害者も外国人も、**全ての人が笑顔で暮らせるまちを目指す**」という趣旨の意見も非常に多い。

「**大型商業施設の誘致**」や「**経済の発展**」によるにぎわいを求める意見もある一方、経済的な豊かさの追求ではなく、多少不便であったとしても、**別の豊かさ（自然の豊かさや、心の豊かさ、人と人との関わり、思いやりなど）**を追い求めるべきという意見も同程度見られる。

また経済的な発展を求める意見においても、**自然との共存や、水とみどりを活かした産業の発展**を求める声が多く、環境問題への関心の高さがうかがえる。

「人口を増やすために **すべき**」という意見もある一方、**人口減少を前提とし、空き家や空き地の活用**などを求める意見もあった。

「行政でできることも限られてくるので、**自分たちでできることは自分たちで取り組んでいきたい**」という意見も見られた。



みんなのえどがわ大会議  
～ 対話型ミーティング～

# 対話型ミーティング

1. 日時 6月15日（火）・17日（木）・18日（金） 18：0～19：30
2. 場所 区役所、参加者の拠点（自宅等） オンライン開催
3. 参加者 各日程 9～10名（3日間・計28名）  
若者 子育てパパ・ママ 高齢者 働く女性  
LGBT 障害者 外国人

～ミーティング当日の様子～



# 対話型ミーティング

## 4. 参加者からの主な意見

親水公園などの都心にはない良いところをもっと活かし、「便利さと自然が調和した”**なうどいい**”**未来**」を目指すべき。

「**クリーン&グリーン**」な**江戸川区**。オール世代が輝く自慢のまちになってほしい。例えば、全ての世代の方が清掃活動を通じて交流するなど、多くある公園を世代間交流の場として活用するのはどうか。

「**天空の街 江戸川区**」が私の考える未来。水害が心配であり、空の空間が有効に使えるのではないかと考えた。空の空間で、お年寄りや若者、障害者などが支え合い、仲良くできる未来が良い。

障害のある子が、**親亡き後も安心して暮らせる地域社会**になってほしい。

ドラえもんのような**ロボット**が**様々なことを支援**してくれる未来になってほしい。

**みんなが集まって楽しいひと時を過ごせる場**を作ることができれば、生きづらさを感じる人も少なくなるのでは。

みんなのえどがわ大会議  
～ワークショップ～

# ワークショップ

## 1. 参加者

延べ486名（区が実施する事業に関係する団体等からの参加者、区議会議員）

## 2. 実施期間

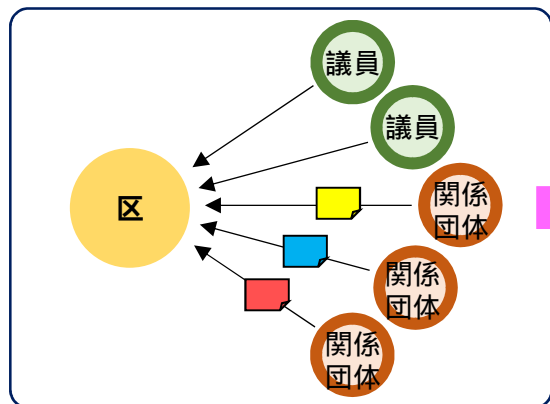
令和3年7月～10月

## 3. 実施方法

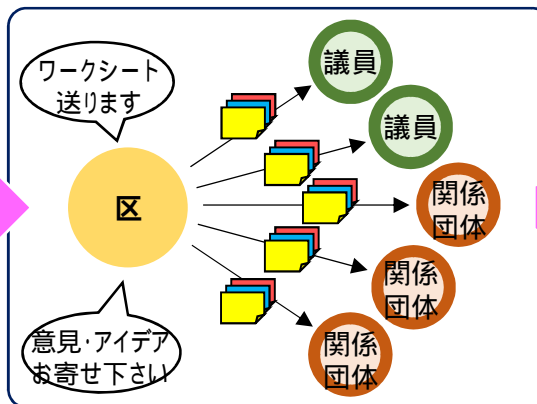
書面開催（全11回）

### ワークショップ書面開催のイメージ

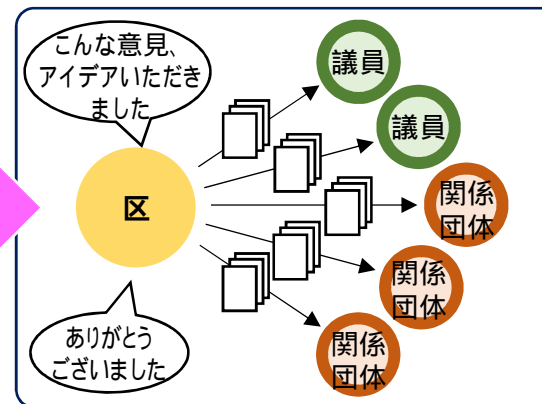
各関係団体より「議論したいテーマ」のワークシートを提出



提出されたワークシートを、議員・関係団体に送付し、意見・アイデアを募る



寄せられた意見・アイデアをとりまとめ、参加者に送付する



ワークシート：事業の「目指すべき未来」と「その実現のためのアイデア」を記載したシート

# ワークショップ

## 4. 主な意見 ~ あなたが思う「2100年の目指すべき姿」と「そのためのアイデア」は？ ~

### 第1回【テーマ：共生社会・施設整備】

- 住む人も共生社会の一翼を担っているという意識が浸透する。
- 新庁舎には区民交流スペースや広場を配置し、「協働・交流」の拠点とする。そしてグリーンロードを中心に船堀地区全体を活気づかせる。
- 2100年には、豊かな区民の暮らしを実現できるような施設の充実を目指す。区民からアイデアを募集し、長期的な計画を持つことが重要となる。

### 第2回【テーマ：防災】

- 避難所運営においては女性や子どもの視点を重視する必要がある。障害者や高齢者など、要支援者の立場に立った取り組みを推進すべきである。
- 子どもたちの「生きる力」「地域を知る力」を育み、次世代のリーダーとして主体的に判断・行動できる人材を育成させる「手段」として、防災に関する教育が、様々な学習機会において取り入れられている。
- 町会単位や近所の方の普段からのコミュニケーションが大事になる。困ったときはお互いに協力するという信頼関係を醸成することが必要である。

### 第3回【テーマ：行政のあり方・各種相談事業】

- 人口が減り、区の職員も減るならば、優先順位により行政が担当しなければならないことに集中する。
- 各種相談（区民・法律・外国人・税務）について、AI等を含むデジタル化により、「来所しなくてよい区役所」となる。インターネット環境が整わない、来所困難な区民に対しては、貸与したタブレットを用いて各種相談をしてもらう。
- 身近なところから男女の参加比率が平等になることを当たり前にする。

# ワークショップ

## 第4回【テーマ：環境】

- 次世代を担う子どもたちにより良い環境を創造するための責任感を醸成させるため、観賞用の草花の栽培に加え、野菜等の栽培、収穫、加工、販売を体験する機会の提供を行う。
- 庁舎・学校・企業等大型施設は、低コストで発電性能の良い太陽光パネルを利用し、再生可能エネルギー発電による電力調達100%を推進する。
- 公園を地域活動の拠点とし、企業と連携を図りながら、近隣教育機関に体験型の学びの場として活用する。

## 第5回【テーマ：まちづくり】

- みどりの空間の確保や農地の確保による、地産地消を目指した江戸川区の個性を活かしたまちづくりが行われている。
- ライフラインが耐震化され、被災しにくい道路整備がされることで、緊急物資輸送ルートの耐震性が確保された都市を実現する。
- 技術向上や人口減少により、全ての道路を車の通行の目的として維持する必要がなくなる。用途を変更した道路は歩行者等にやさしい緑道や公園として活用する。

## 第6回【テーマ：地域振興・産業振興】

- 地域・民間・行政が一丸となった「まちづくり」を実現させる。
- 災害時に逃げないで済むような、あるいは他から逃げてこられるような区を目指せば、現存の中小企業も住民も出て行く必要はないと思う。
- 通信技術の進歩により、世界中の人々が江戸川区の技術や製品に触れ合う機会をもち、いつでも商談や取引ができる環境が整っている未来を目指す。そのために販路開拓のための通信技術の導入支援を行う。

# ワークショップ

## 第7回 【テーマ：福祉】

- DX推進により、医療現場と家庭内での情報共有を速やかにを行い様々な問題や症状に迅速な対応ができるようになる。
- アウトリーチ機能をさらに充実し、町会・自治会との連携も深め見守りが必要な方々へのフォロー体制を整える。
- 就労の機会を増やすことにより、生きがいと社会貢献につなげ元気な高齢者の活躍の場を提供する。

## 第8回 【テーマ：子育て】

- 将来的に家庭環境がより多様化するため、貧困・虐待家庭等への食の支援の継続に加え、一般家庭へも支援すべきである。また、官民が協力して支えあえる居場所を作るべきである。
- 子育ての孤立化が進む中、保育施設が希望ある子育てができる環境となるよう、人材確保・育成や環境整備を行う。
- 虐待の実態や兆候、子どもの権利条例の周知を進めるなどして虐待に対する啓発を行うべきである。また、地域や社会で子育てを支援・子どもを守るような取り組みを進めるべきである。

## 第9回 【テーマ：健康】

- 治療や介護が必要になる前の早い段階での予防を充実させて、高齢者の健康格差を少なくすることが重要である。
- ITやAIが発展しても、対面で直接触れ合える環境は未来にも残していきたい。
- メンタルヘルス及び精神疾患・精神障害が誰にとっても身近であたりまえの存在となり、相談できる場所や居場所などの支援が充実する。



# ワークショップ

## 第10回 【テーマ：教育】

- 世界中の専門家と繋がり、児童・生徒の興味・関心を引き出すことができる授業プランを実施する。
- 文化財についてSNS・AIを活用した区民参加型の企画・展示・ワークショップを行い、伝統文化に触れる機会を増やす。
- 誰一人取り残すことなく多様な児童・生徒に対応するため、各分野のスペシャリストを活用する。

## 第11回 【テーマ：文化・スポーツ】

- 高齢化が進む社会において、高齢者の社会参加・社会貢献意識の向上やフレイル予防、行政サービスのコスト削減の面からも、ボランティア活動の活性化に取り組む意義は大きい。
- スポーツ施設の増設・改築にあたっては、障害者の視点を大事にする。
- 江戸川区は「本が好き」というパブリックイメージを持たせる。本好き・読書好き・図書館好きの区民が読書体験を通し、広い見識を持ち、正しい情報を見極め、未来に繋げていく。

**みんなのえどがわ大会議**  
**～ 区民懇話会委員との意見交換～**

# 区民懇話会委員との意見交換

## 1. 実施時期

令和3年6月 書面による意見交換

## 2. 実施内容

区が取りまとめた、各事務事業の「成り行きの未来」を踏まえ、「**目指すべき未来**」と「**その実現のための施策**」について、有識者の皆様の専門的見地からご意見をいただいた。

### 成り行きの未来

- ・人口減少
- ・歳入減少
- ・職員数減少

### 有識者との意見交換

- ・目指すべき未来
- ・その実現のための施策

### 目指すべき未来

2100年

➡ ビジョンに反映

# 区民懇話会委員との意見交換

## 3. 主な意見（目指すべき未来の実現に向けて）

区民が自発的に様々な活動に参加するためのマインドセットを研修や日常活動を通じて身に付けてもらうための策を考えておく必要がある。

今後は、他の自治体と共通する問題にたいしてシステム開発などを共同して、事業者に発注開発する工夫が必要と考える。

ビジネスチャンスは、パソコンから生まれるのではなく、志を持った多くの人同志の対話や交流から生まれるものである。

ビジネスのまちとして、外国人が長期滞在可能なまちにする必要もある。

休廃校した学校を新ビジネスや役所の新サービスの場所として活用していく。

都心にも羽田にも成田にも、30分程度で行ける江戸川区は、ビジネス拠点としても最適になる。

家庭、職場、社会に於ける防災体制の官民構築が求められる。

人間対人間の信頼関係を構築できるような、新たな社会を目指していく必要がある。

世界的にみれば、先進国の人口減少は決して悪いことでも、国力の衰えでもない信じている。

# 共生社会ビジョン 骨子案

# 共生社会ビジョン骨子案

## 「共生社会ビジョン」全体を通しての考え方

小学校高学年から理解できるように、イラストをふんだんに使用し、平易な文章、大きな文字で表現する

ページ数が多くなりすぎないように、概ね20～30ページ程度におさめる

全体が一つのストーリー（ものがたり）になるよう構成する  
思わず手に取ってみたいくなるような造りをこころがける

日本語版の完成後は、他言語版（英・中・韓）、音声版を作成するとともに、日本語版を区HPにも掲載し、自動翻訳による108か国語での閲覧を可能とする



依頼予定の  
イラストレーターの  
イラスト例

# 共生社会ビジョン骨子案

## 全体構成（案）

### 成り行きの未来

- ・人口、財政等が減少した社会
- ・「ともに生きるまち」が実現していない未来の姿

### 目指すべき未来（全体） = ともに生きるまち

- 人口、財政等が減少する中でも...
- ・誰もが安心して自分らしく暮らせる
  - ・みんなが自分たちのまちのために行動する
  - ・将来世代のため、痛みも分かち合う

区民への投げかけ

### 区民からの意見

- ・寄せられたさまざまな意見

### 目指すべき未来（詳細） = 5つのともに生きる

- ・人とともに生きる
- ・環境とともに生きる
- ・社会とともに生きる
- ・未来とともに生きる
- ・経済とともに生きる

### おわりに

- ・ビジョンにこめた想い

### （巻末）策定の経緯

- ・みんなのえどがわ大会議
- ・えどがわ未来カンファレンス

➡ 全体が一つのストーリーになるよう表現

# 共生社会ビジョン骨子案

## 「目指すべき未来」の内容（案）

区民・区議会議員・有識者等からの意見を踏まえ、区役所において議論し抽出したキーワードや考え方をもとに整理。

### 人とともに生きる

- ・「障害者」「LGBTQ」などカテゴリー分けする言葉がなくなっている
- ・心地よい生き方を自分で選べる、平等に選べる（学び方、仕事、結婚、出産、子育て、住む場所、死に方など）
- ・喜怒哀楽を安心して表現できる
- ・人と人がお互いにささえ合う
- ・それぞれの個性が尊重され、理解され、受け入れられる
- ・病気があっても障害があっても、生きがいをもって心健やかに暮らせる
- ・がんばれない時も後ろ向きな気持ちの時も、自分を受け入れ、ここにいていいんだと思える

### 社会とともに生きる

- ・様々な個性をもった人が「ごちゃまぜ」で暮らしている、にぎやかで、平和で、強いまち
- ・みんなが「自分たちのこと」として主体的にまちづくりに参加する
- ・テクノロジーが社会に浸透し、いつでもどこでも、全ての人が円滑にコミュニケーションをとり、思い通りに行動し、平等に社会に参加できるようになっている
- ・誰もが意見を言える場がある
- ・災害時など、自分たちの命は自分たちで守る
- ・「人と人がささえ合う力」が、おまつりや防災活動によって大事に守られている
- ・全ての人に居場所がある
- ・何世代にもわたって住み続けたいまち



# 共生社会ビジョン骨子案

## 経済とともに生きる

- ・まちの景色も「ごちゃまぜ」（住宅、会社、店舗、病院など）で暮らしやすい
- ・誰もが働きたいときに、個性を活かして自分らしく生き生きと働ける
- ・区内の会社も大事な「区民」の一人。災害に強い基盤を作って会社を守る
- ・農業も大切な仕事の一つ。災害対策、気候変動対策にもつながる
- ・企業が最新技術を活用しながら、区の強みである豊かな自然と人のつながりを活かして、新しいビジネスにチャレンジできる
- ・「江戸川区ブランド」が高まっていて、みんなが集まってくるまちになっている
- ・区民や企業が、区の財産も活用して、まちのにぎわいを作り出している

## 環境とともに生きる

- ・水の恵みをいかした「水の都」として有名になっている
- ・世界一水害に強いまち
- ・みどり、土が豊かで、ふれあえる場所が多くある
- ・広い空、広い空間、きれいな空気がある
- ・動物、鳥、魚、虫など生き物とともに生きる
- ・新たな技術で環境に優しいエネルギーを生み出し、資源を使いすぎない
- ・公園がコミュニティの拠点になっている
- ・ごみが全てリサイクルされ資源化されている

# 共生社会ビジョン骨子案

## 未来とともに生きる

- ・「ともに生きるまち」として、世界をリードする存在になっている
- ・常にチャレンジし続け、時代に合わせて変化し続けている
- ・みんなが目の前のことだけでなく、常に未来へつなぐ意識（将来世代への思いやり）を持って行動している
- ・みんなが未来に向けて希望をもっている
- ・みんなが自分たちの考えやできること・できないことを正直に伝えあえる信頼関係で結ばれている
- ・未来を担う子どもたちが、自立するために必要な力を、自分に合った学び方で育てている
- ・お金も物もエネルギーも、使い切ってしまうまいよう工夫して使い続けている
- ・建物や道路、施設を作る時には、将来世代の負担にならないよう工夫しながら作っている



**これからもみんなの意見を聞きながら、  
目指すまちの姿を一緒に考え、一緒に行動していく**

共生社会 = SDGsビジョン  
骨子案

# 共生社会 = SDGsビジョン骨子案

## 1 2030年の江戸川区

「2030年の江戸川区の姿」を複数枚の「絵葉書」にします。  
絵葉書には、理想のまちの姿が描かれており、それを目標に施策を展開していくことになります。  
内容については、安全・安心、まちづくり、コミュニティ、福祉、健康、水とみどりなど広範にわたります。具体的内容は検討中です。

## 2 計画策定の基本的な考え方と期間

本計画は、基本理念である「ともに生きるまち」を実現するため、基本構想となる「共生社会ビジョン」のもと、2030年までの本区の取り組みの方向性や個別事業計画をまとめた中期基本計画になります。  
本計画では区の各事務事業を、SDGsの17ゴールと169のターゲットに紐付けています。  
本区では、共生社会の理念とSDGsの「誰一人取り残さない」という理念は同じであると考えているためです。  
計画期間は、2022年度（令和4年度）～2030年度（令和12年度）です。

## 3 SDGsについて

本計画の基盤となるSDGsについて説明します。  
SDGsと本区が目指す「ともに生きるまち」（共生社会）の関係性について説明します。

# 共生社会 = SDGsビジョン骨子案

## 4 施策の方向性

○人口減、歳入減、職員数減を前提としながらも、「ともに生きるまち」の実現を目指し、以下の5つに関する施策に取り組みます。

1 人	2 社会	3 経済	4 環境	5 未来
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共生社会の実現 など</li> <li>・ 生きがい</li> <li>・ 教育</li> <li>・ 妊娠、出産、子育て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災</li> <li>・ 災害対応 など</li> <li>・ 地域振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興</li> <li>・ 区内企業</li> <li>・ 伝統産業</li> <li>・ 来庁不要</li> <li>・ 役所 X 化 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある公園</li> <li>・ 気候変動対策</li> <li>・ 脱炭素社会</li> <li>・ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新庁舎建設</li> <li>・ 高台まちづくり</li> <li>・ 小岩駅、船堀駅周辺まちづくり など</li> </ul>
				

各施策は仮の内容です

ゴール毎の個別の取り組み（次ページ）

# 共生社会 = SDGsビジョン骨子案







## 5 SDGs17ゴールの概要と本区の施策

○SDGsの17のゴール毎に、本区の主な目標、その達成指標、個別の事業を掲載します。指標は検討中

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を推進しよう	6 清潔な水とトイレを世界中に
Goal 1	Goal 2	Goal 3	Goal 4	Goal 5	Goal 6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の経済的安定の実現</li> <li>・生活困窮者への相談体制の充実 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3～9事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な子どもへの食の支援</li> <li>・持続可能な農業への支援 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心した環境の整備</li> <li>・誰もが安心して暮らせる環境を整備 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 15～21事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的・社会的・地域・学校の協働による総合的・多岐にわたる教育の実施</li> <li>・保育・幼児教育、生涯学習環境の整備 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 15～21事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークライフバランスの推進</li> <li>・女性の社会参画及びリーダーシップ機会の確保 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で清潔、多様性にも配慮したトイレの整備</li> <li>・水質や大気汚染の監視 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3事業程度</p>






各施策は仮の内容です

# 共生社会 = SDGsビジョン骨子案

 Goal 7	 Goal 8	 Goal 9	 Goal 10	 Goal 11	 Goal 12
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、事業所におけるエネルギー効率の改善</li> <li>再生可能エネルギーの推進 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内産業の新たな分野への進出やDX化の推進</li> <li>誰もが働きやすい環境の整備 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 12～15事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政サービスのDX化の推進</li> <li>区内産業の活性化の推進 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 6～9事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共生社会の推進</li> <li>多文化共生施設の推進 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 9～12事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインのまちづくりの推進</li> <li>都市基盤の充実・向上 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 15～21事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の発生の抑制</li> <li>食品ロスの減少 など</li> </ul> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>

各施策は仮の内容です

# 共生社会 = SDGsビジョン骨子案

 Goal 13	 Goal 14	 Goal 15	 Goal 16	 Goal 17
<p>・気候変動に対応する具体の事業推進 ・気候変動に関する教育・啓発の推進 など</p> <p>【掲載事業数】 3事業程度</p>	<p>・海洋ごみやマイクロプラスチクの削減に 関する普及啓発 ・葛西海浜公園の生態系の保持 など</p> <p>【掲載事業数】 3事業程度</p>	<p>・緑化事業の推進 ・生物多様性に関する教育・啓発</p> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>	<p>・あらゆる形態の犯罪の減少 ・すべての人への報への公平なアクセスの確保 など</p> <p>【掲載事業数】 6～9事業</p>	<p>・他自治体や民間企業などとの協働の推進 ・すべてのステークホルダー間でのパートナーシップの強化 など</p> <p>【掲載事業数】 3～6事業</p>

各施策は仮の内容です